



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 エンシュウ株式会社  
 コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 土屋 隆史  
 (氏名) 勝倉 宏和

TEL 053-447-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	22,236	△0.5	△97	—	△268	—	△339	—
26年3月期第3四半期	22,357	21.4	745	△27.8	1,022	△0.3	992	5.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △346百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 1,100百万円 (16.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△5.38	—
26年3月期第3四半期	15.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	34,847	7,169	20.6	113.62
26年3月期	35,965	7,905	21.8	124.03

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 7,169百万円 26年3月期 7,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,200	△2.8	△200	—	△490	—	△600	—	△9.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	63,534,546 株	26年3月期	63,534,546 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	436,404 株	26年3月期	423,175 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	63,108,764 株	26年3月期3Q	63,130,192 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策による株価上昇や円安の進行が見られ、穏やかな回復基調が続きました。一方で世界経済は、欧州及び北米地域で底堅く推移したものの、中国を主とするアジア経済の減速が鮮明となり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、工作機械関連事業部門が増加したものの、輸送機器関連事業部門が減少したことにより22,236百万円（前年同期比0.5%減）となりました。損益につきましては、営業損失は97百万円（前年同期は営業利益745百万円）となり、経常損失は268百万円（前年同期は経常利益1,022百万円）、四半期純損失は339百万円（前年同期は四半期純利益992百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

工作機械関連事業部門におきましては、アジア地域が堅調に推移する中、欧米地域の売上回復を受けて、売上高は14,081百万円（前年同期比5.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は、海外現地法人の業況回復があったものの、システム案件の採算悪化が影響し143百万円（前年同期比66.0%減）となりました。

輸送機器関連事業部門におきましては、ベトナム向け設備売上の剥落により売上高は8,096百万円（前年同期比9.7%減）となり、セグメント損失（営業損失）はベトナム現地法人の創業赤字計上等により282百万円（前年同期は営業利益282百万円）となりました。

その他部門におきましては、不動産賃貸業により売上高は58百万円（前年同期比0.0%）となり、セグメント利益（営業利益）は44百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,118百万円減少し、34,847百万円となりました。この主な要因は売上債権が1,186百万円、無形固定資産が58百万円、投資その他の資産が43百万円増加したものの、現金及び預金が1,113百万円、たな卸資産が1,277百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ382百万円減少し、27,678百万円となりました。この主な要因は、短期借入金646百万円、退職給付に係る負債が190百万円、その他の流動負債が597百万円増加したものの、長期借入金1,330百万円、賞与引当金が239百万円、仕入債務が136百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ735百万円減少し、7,169百万円となりました。この主な要因は四半期純損失を339百万円計上したこと及び退職給付に関する会計方針の変更により利益剰余金が286百万円減少したこと及び為替換算調整勘定が213百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は20.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、本日（平成27年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の基礎となる期間の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく決定方法から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映する決定方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が286百万円増加し、利益剰余金が286百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,829	1,716
受取手形及び売掛金	5,404	6,590
商品及び製品	3,881	3,709
仕掛品	4,739	3,703
原材料及び貯蔵品	1,281	1,212
その他	2,049	2,038
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	20,178	18,961
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,387	7,387
機械装置及び運搬具	3,576	3,524
その他(純額)	4,206	4,254
有形固定資産合計	15,170	15,166
無形固定資産		
のれん	—	19
その他	206	246
無形固定資産合計	206	265
投資その他の資産		
その他	495	538
貸倒引当金	△84	△84
投資その他の資産合計	410	453
固定資産合計	15,787	15,885
資産合計	35,965	34,847
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,292	6,156
短期借入金	5,818	6,464
未払法人税等	94	11
賞与引当金	403	163
その他	1,877	2,474
流動負債合計	14,486	15,271
固定負債		
長期借入金	7,885	6,554
役員退職慰労引当金	46	15
退職給付に係る負債	3,187	3,377
資産除去債務	288	290
その他	2,167	2,168
固定負債合計	13,574	12,406
負債合計	28,060	27,678

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,640	4,640
資本剰余金	1,230	1,230
利益剰余金	△775	△1,401
自己株式	△63	△65
株主資本合計	5,032	4,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	2
土地再評価差額金	3,409	3,409
為替換算調整勘定	320	106
退職給付に係る調整累計額	△936	△754
その他の包括利益累計額合計	2,795	2,764
少数株主持分	77	—
純資産合計	7,905	7,169
負債純資産合計	35,965	34,847

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	22,357	22,236
売上原価	19,317	19,976
売上総利益	3,039	2,260
販売費及び一般管理費	2,293	2,358
営業利益又は営業損失(△)	745	△97
営業外収益		
受取利息	29	9
受取配当金	2	0
受取賃貸料	31	21
持分法による投資利益	—	0
為替差益	426	49
その他	75	38
営業外収益合計	565	120
営業外費用		
支払利息	234	205
持分法による投資損失	2	—
その他	50	84
営業外費用合計	288	290
経常利益又は経常損失(△)	1,022	△268
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	29	—
特別利益合計	33	0
特別損失		
固定資産廃棄損	2	9
特別損失合計	2	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,054	△277
法人税、住民税及び事業税	181	32
法人税等調整額	△105	19
法人税等合計	75	51
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	978	△329
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△13	10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	992	△339

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	978	△329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	0
為替換算調整勘定	134	△200
退職給付に係る調整額	—	181
その他の包括利益合計	122	△17
四半期包括利益	1,100	△346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,106	△359
少数株主に係る四半期包括利益	△5	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,327	8,971	22,298	58	22,357	—	22,357
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	11	28	—	28	△28	—
計	13,344	8,982	22,327	58	22,386	△28	22,357
セグメント利益	423	282	705	44	750	△5	745

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,081	8,096	22,177	58	22,236	—	22,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	0	31	—	31	△31	—
計	14,111	8,097	22,209	58	22,268	△31	22,236
セグメント利益又は損失(△)	143	△282	△139	44	△94	△3	△97

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。